

様式第4号その①（第6条関係）

令和5年4月3日

宗像市長 伊豆美沙子様  
（宗像市議会議長経由）

議員名 上野崇之

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和4年度 政務活動費収支報告書

議員名

上野 崇之

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費		
調査研究費		
資料作成及び資料購入費	332,079	180,829
広報及び広聴費	121,000	83,171
人件費		
事務所費		
合計	453,079	264,000

3 残額

0円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

## 令和4年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目											(単位:円)		
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	図書購入(『自助社会を終わらせる』等6冊)	資料作成・資料購入費					14,960								14,960	14,960
2	図書購入(『気候民主主義』)	資料作成・資料購入費					2,310								2,310	2,310
3	図書購入(『都市の間診』等6冊)	資料作成・資料購入費					12,309								12,309	12,309
4	ノートパソコン(CF-SR3GDTOR)、純正バッテリーパック	資料作成・資料購入費							302,500						302,500	151,250
5	『うえのニュース 2022年夏号(Vol.12)』	広報及び広聴費				60,500									60,500	42,350
6	『うえのニュース 2023年春号(Vol.13)』	広報及び広聴費				60,500									60,500	40,821
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計						121,000	29,579	302,500							453,079	264,000

研修開催費		
調査研究費		
資料作成・資料購入費	332,079	180,829
広報及び広聴費	121,000	83,171
人件費		
事務所費		
合 計	453,079	264,000

(様式4)

## 図書リスト

	宗像市議会議員		上野 崇之
図書名	取得年月日	税込価格(円)	備考
『自助社会を終わらせる 新たな社会的包摂のための提言』	令和4年9月1日	2,860	
『そのとき、日本は何人養える？ 食料安全保障から考える社会のしくみ』	令和4年9月1日	1,650	
『自治体×民間のコラボで解決！公務員のはじめての官民連携』	令和4年9月1日	2,420	
『地域新電力 脱炭素で稼ぐまちをつくる方法』	令和4年9月1日	2,420	
『ヘリテージマネジメント 地域を変える文化遺産の活かし方』	令和4年9月1日	2,860	
『都市の脱炭素化』	令和4年9月1日	2,750	
『気候民主主義 次世代の政治の動かし方』	令和4年9月6日	2,310	
『都市の間診』	令和4年11月10日	2,200	
『センス・オブ・ワンダー』	令和4年11月10日	649	
『賃労働の系譜学 フォーディズムからデジタル封建制へ』	令和4年11月10日	2,420	
『ネイバーフッドデザイン まちを楽しみ、助け合う「暮らしのコミュニティ」のつくりかた』	令和4年11月10日	2,640	
『ポストモダニティの条件』	令和4年11月10日	2,200	
『土が変わるとお腹も変わる 土壌微生物と有機農業』	令和4年11月10日	2,200	
合計		29,579円	

(様式5)

### 備品台帳

《価格が3万円以上の事務機器》

宗像市議会議員 上野 崇之

備品番号	品名	取得年月日	税込価格(円)	備考
1	ノートパソコン(CF-SR3GDTCR)	R5.2.8	275,000 円	内 137,500 円を政務活動費に計上
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
合計			275,000 円	

③

領収書



www.haruya.co.jp

宗像店 TEL:0940-38-0280  
ポイントが貯まるブルーカード

店No: レジNo:0001  
2022年11月10日(木) 15時03分

領収証

上野 崇之 様

合計 ¥12,309  
(うち消費税等 ¥1,119)

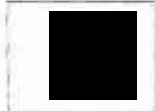
但し 書籍代 として

売上レシートNo. 010384515

上記正に  
領収いたしました

印紙税申告納  
付につき松山  
税務署承認済

愛媛県松山市中央2丁目69番1  
株式会社 明屋書店  
代表取締役 紺野彰



<保管上のお願い>  
内側に折って保管して下さい

レシートNo:010384515  
扱:008

③

領収書



www.haruya.co.jp

宗像店 TEL:0940-38-0280  
ポイントが貯まるブルーカード

店No: レジNo:0001  
2022年09月06日(火) 17時09分

領収証

上野 崇之 様

合計 ¥2,310  
(うち消費税等 ¥210)

但し 書籍代 として

売上レシートNo. 010368637

上記正に  
領収いたしました

印紙税申告納  
付につき松山  
税務署承認済

愛媛県松山市中央2丁目69番1  
株式会社 明屋書店  
代表取締役 紺野彰



<保管上のお願い>  
内側に折って保管して下さい

レシートNo:010368638  
扱:007

③

領収書



www.haruya.co.jp

宗像店 TEL:0940-38-0280  
ポイントが貯まるブルーカード

店No: レジNo:0001  
2022年09月01日(木) 17時42分

領収証

上野 崇之 様

合計 ¥14,960  
(うち消費税等 ¥1,360)

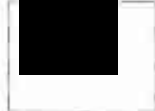
但し 本代 として

売上レシートNo. 010367336

上記正に  
領収いたしました

印紙税申告納  
付につき松山  
税務署承認済

愛媛県松山市中央2丁目69番1  
株式会社 明屋書店  
代表取締役 紺野彰



<保管上のお願い>  
内側に折って保管して下さい

レシートNo:010367337  
扱:018

④

⑤

領収証

上野 崇文 様

金額	¥302500				
----	---------	--	--	--	--

No. \_\_\_\_\_



内訳
現金
小切手
手形

但 1-トバコン CP-SR30DTCR, 11/19  
5年 2月 8日 上記正に領収いたしました

ONGAESHI株式会社  
代表取締役 福田 剛

〒811-3405 福岡県宗像市須恵2丁目27番36号  
TEL 0940-51-6615 FAX 0940-51-6615



消費税額等(%)

コクヨ ワケ-260

④

領収証

上野 崇文 様

¥60,500

内訳
現金
小切手 /
手形 /
消費税(10%)
消費税(5%)
消費税

但 じんの2-2Vol.12 制作印刷費 7500部  
2022 年 9 月 20 日 上記正に領収いたしました  
登録番号

収入印紙



〒811-4143  
福岡県宗像市三  
工ムエイ  
TEL:0940-51-2046 F

④

領収証

上野 崇文 様

¥60500

但 じんの2-2Vol.13 制作印刷費 7500部  
2023 年 3 月 28 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税込)
	%	消費税額等
内訳	税率	金額(税込)
	%	消費税額等

収入  
印紙

コクヨ ワケ-1997



〒811-4147  
福岡県宗像市石丸  
工ムエイ  
TEL:0940-51-2046 FAX:

# 納品書

No. : a0321  
発行日 : 令和5年2月8日

上野 崇之 様

ONGAESHI 株式会社

〒 811-3405

福岡県宗像市須恵2-27-36

TEL/FAX 0940-51-6615

Email info@on-gaeshi.com

下記の通り納品致します。

**請求金額**      **¥302,500-**

No.	商品名 / 品名	数量	単価	金額
1	ノートパソコン Let'snote CF-SR3GDTCR	1台	250,000	250,000
2	大容量バッテリー CF-VZSU1Y2S	1台	25,000	25,000
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

小計 (税抜)      ¥275,000  
 消費税 (10%)      ¥27,500  
**合計 (税込)      ¥302,500**

備考欄 :



# うえのニュース

2023年春号 Vol.13

## 対話と協働で創る 新時代の宗像市

〒811-3425 福岡県宗像市日の里 3-23-11

電話・FAX 0940-37-3344 携帯番号 090-7382-9151



2月24日、議員インターン中の大学生たちとライオンズクラブ献血活動に参加

### 想いをもつてつながり 支えていく議員を目指して

新型コロナウイルス感染症の被害・影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和2年3月に最初の緊急事態宣言が出されてから三年。市内各地で行事が開催され、にぎわう風景が戻りつつある一方、社会全体では昨年の出生数が80万人を切り過去最低となるなど、不安を感じている面もあります。

私にとってこの三年間は、人命のつながりに想いをはせながら、身近な所からできる取組の大切さを再認識する期間でした。

その一例である献血は、輸血以外にもコロナ重症者の集中治療で必要とされ、現在不足気味です。この献血に協力し支える全国的な団体に、昨年個人で参加させ

てもらっています。

市議としては、昨年11月に議会での役職が「予算決算第2特別委員会（国保や介護保険などの特別会計を審査）の委員長」に変わりました。市議2期目の任期も残り約一年半。一人ひとりが抱える不安に向き合い、想いをもつてつながり、支えていく議員になれるよう尽力してまいります。



2月26日、古賀せいし市議（古賀市）の事務所開きに近隣市町の議員たちと

▼裏面 議会報告

うえの  
たかゆき  
上野崇之

プロフィール

1981（昭和56）年5月7日、宗像市日の里生まれ。現在も生家に妻子と在住。日の里東小学校・日の里中学校・福岡高校・九州大学法学部を卒業。最終学歴は九州大学大学院（法学府修士課程）中途退学。政治学専攻。2014年4月、宗像市長選立候補。2016年10月、宗像市議会議員初当選。2020年10月、市議二期目当選。会派名「未来むなかた」（代表：北崎正則議員）。予算決算第2特別委員会委員長、社会常任委員会委員、宗像地区事務組合議員。2020年9月、旧国民・立憲民主党の合流新党に参加し、現在は立憲民主党所属。



# 12月・3月 議会報告

一般質問の映像と議事録は市議会ホームページで閲覧できます。

## 12月定例議会の一般質問

### 介護と育児のダブルケアに対する支援を

宗像市は今年度、女性の活躍推進のために「むなかた仕事と育児・介護の両立支援プログラム」を構築し、相談体制などを充実させるとともに、ニーズ調査を行うこととしています。

この方針を踏まえて上野は、高齢化と晩婚化・少子化が同時に進行するなか、「育児中の人」が親の介護も同時に担う「ダブルケア問題」をあわせて調査し、啓発してはどうかと提案しました。

市側からは、介護は突然必要になることもあり、自らがダブルケア状態にあると認識していない当事者がいる可能性があること。今回の調査を一つの啓発機会と捉え、内容を検討するとともに、育児や介護の各部署が重層的に対応する連携の検討を進めたい、と答弁がありました。

続いて上野は、大阪府堺市が区役所内の基幹型地域包括支援センターにダブルケア総合相談窓口を設けている事例を紹介。宗像市での設置の可能性について

質問しました。

これに対しては、新たな窓口設置ではなく、現在、国が推進する重層的支援体制整備事業への移行に取りかかっていること。具体的には、最初の相談窓口でダブルケア等の問題を受け止めたうえで、庁内の連携会議や適切な支援機関につなぎ、継続的支援となる相談体制を構築していく旨の答弁がありました。

なお、ダブルケアに関する調査は、今年1月下旬から子育て世帯等を対象に行われた「市民ニーズ調査」の質問項目に盛り込まれました。また、重層的支援体制整備事業は令和5年度予算の中で提案がされており、調査結果を踏まえた取組が進むよう、引き続き注視していきます。



1月下旬から行われた「市民ニーズ調査」の案内ハガキ。

## 3月定例議会の一般質問

### ① 脱炭素社会推進に向けた取組を

### ② クラウドファンディングで地域猫活動の支援を

宗像市は2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指して、今年度、脱炭素社会推進室を庁内に新設し、公共施設等での太陽光発電の導入可能性調査等を行っています。

そこで上野は、調査状況とあわせて、①今年度から国が募集を始めた「脱炭素先行地域」採択に向けての方針や、②CO2排出量が多いとされる下水道分野での取組を質問しました。

市側からは①について、国の補助事業等を活用して脱炭素化を進めるため応募を検討すべきと考えており、市の特性や課題に合う実現可能性の高い計画案づくりや民間事業者等との連携に取り組んでいる、との答弁がありました。

②については、終末処理場の消化ガス発電を平成28年から開始し、昨年度は消費電力の約21%、CO2排出量換算で約770トン削減したこと。そして、現在の3つの水処理システムを更新時に集約して最新の省エネ技術を導入することで、さらなる脱炭素化が図られると考える旨の答弁がありました。



二つ目の質問は、ふるさと寄附金の中で、使途・目標額・期間等を明確にして寄附を募る「ガバメントクラウドファンディング」を活用し、市内の地域猫活動を支援してはどうかというもの。提案した理由は、繁殖力の強い猫の野良化による環境悪化の防止になるとともに、地域猫として世話する方々の想いと支え合う姿に感動したからです。

市側も、各団体と意見交換するなかで、猫の不妊去勢手術を無償実施していた病院が今年度で閉まること、資金面で特に大きな課題になると認識しており、事業継続していくために来年度、ガバメントクラウドファンディングを活用した取組を計画している、との答弁がありました。



桜の花のようにカットされた耳の先が、不妊去勢済みの地域猫の目印。

# うえのニュース

2022年夏号 Vol.12

## 対話と協働で創る 新時代の宗像市

〒811-3425 福岡県宗像市日の里 3-23-11

電話・FAX 0940-37-3344 携帯番号 090-7382-9151



9月10日、日の里中学校3年生が避難所を運営する防災訓練に参加

## ポストコロナ時代に向けて 地域の力を育んでいくために

新型コロナウイルス感染症の被害・影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

先日、県外の大学生のインタビューを受けました。少子高齢化が進み、感染症の終わりも見えないなか、「どうすれば地域活動に若い人の参加を促せるか」というテーマでした。私からは、地元のみまつり企画で小学生たちと一緒にグッズを制作し、多世代の参加と伝統継承につないでいる取組みを中心に話しました。

地域に暮らす人たちとの対話を通じて課題とアイデアを学び、皆でより良い地域を創っていく。そんな実践をいつも大切にして、誰もが参加しやすい活動と地域の力を育んでいきたいと思っています。

今春には、市議会建設産業委員会として数年ぶりの行政視察を行いました。「宗像市の水産業振興」をテーマに委員会で行った調査の内容は、9月議会で報告・提言を行うとともに、今後の議員活動でも活かしてまいります。

▼裏面 議会報告



8月20日、3年ぶりに開催された地元の日の里まつり。市長への「日の里50周年記念誌贈呈式」もありました。

うえの  
上野 崇之  
たかゆき

プロフィール

1981（昭和56）年5月7日、宗像市日の里生まれ。現在も生家に妻子と在住。日の里東小学校・日の里中学校・福岡高校・九州大学法学部を卒業。最終学歴は九州大学大学院（法学府修士課程）中途退学、政治学専攻。2014年4月、宗像市長選立候補。2016年10月、宗像市議会議員初当選。2020年10月、市議二期目当選。会派名「未来むなかた」（代表：北崎正則議員）。予算決算第1特別委員会委員長、広報編集部会部会長、宗像地区事務組合議員。2020年9月、旧国民・立憲民主党の合流新党に参加し、現在は立憲民主党所属。



# 6月・9月 議会報告

一般質問の映像と議事録は市議会ホームページで閲覧できます。

## 6月定例議会の代表質問

### これからの「定住都市むなかた」のあり方は

4月の市長選後、最初となる6月議会では、会派として「代表質問・市長から毎年度示される施政方針に対する質問」を行いました。（以下、紙幅の都合で一部のみ紹介しています。）

今回の施政方針では、①市が行う全ての取組みは「定住都市むなかたの実現」が最終目的であること、②取組みを横断的に融合し、相乗効果を生むものに発展させること、③基本政策として「安全・安心な防災・減災対策、教育・子育て環境の充実、都市再生の推進」の3つに取組むことが示されました。

①に関して上野は、市の人口や産業の現状と課題を質問。伊豆市長からは、人口は微増・維持の傾向が続く一方、産業は従業員1人当たり付加価値額や住民1人当たり所得額が全国平均より低いなどの課題があるとの答弁がありました。

②に関しては、女性が活躍する上で課題となっている子育てや介護の支援策とあわせ、企業

誘致や就労の支援も必要ではないかと質問。市側からは、仕事と育児・介護の両立支援プログラムを構築して相談体制などを充実させるとともに、女性の

ニーズを調査し、企業誘致担当課と進め方を検討したいとの答弁がありました。

③に関しては、都市再生を財政安定化と結び付けていく考えが施政方針に示されたことに着目し、その具体像を質問。市側からは、日の里地区では団地老朽化の問題解決だけでなく、地区内の開発促進や生活利便施設誘致、住民の交流促進などがメディアにより注目を集め、転入者や税収の増につながっているとの例示がありました。



周辺で宅地開発が進んでいる日の里地区の「ひのさと48」



## 9月定例議会の一般質問

### ①デジタル技術活用と市民サービス改善の調和を ②学校水泳指導業務民間委託の成果と今後の展開は

近年、市が急速に進めているデジタル技術活用について、その便利さを市民の皆さんにどう実感してもらい、利用を促していくかを、最初に質問しました。

市側からは、すでに導入している電子申請の拡充やAIによる自動応答サービスを今後予定しているほか、社会課題の解決に向けた聴き取りを各課に行ったり、市民の情報格差をなくするため、スマートフォンの相談窓口や教室を設けたりしている旨の答弁がありました。

さらに上野は、今年度の「プレミアム付き電子商品券（むなかたペイ）」について、購入後の支払いが便利になり、管理の事務負担も軽減したことを評価する一方、紙の商品券であれば使えていた市民や店舗での利用が減ってはいけないと主張し、より良い事業にしようことを要望しました。

二つ目の質問は、市内3つの小学校で実施中の「民間のプールと指導員を活用する水泳授業」の成果と今後について。

市からは成果として、専門家の指導による泳力向上、準備や安全確保にかかる教員の負担軽減、室内プールの利用で天候等に左右されず授業ができることが挙げられた上で、今後、学校のプールの老朽度や管理等の経費、民間プールの受入体制や委託料等を総合的に判断しながら、現在の方法以外の事例も参考に検討を続ける旨の答弁がありました。

これを受けて上野は、「学校プールに民間指導員を派遣してもらう形」を提案したほか、他県の事例を紹介し、プールの稼働率や経費、利用目的等を多角的に検証した上で、中長期的なコスト削減につながる議論も進めてほしいと要望しました。



7月から宗像市民に先行販売され、9月初頭に売り切れた「むなかたPay」

